



# やなぎっ子

<https://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

## ～ 備えあれば ～

校長 五十嵐 公 明

まずはご挨拶の前に、1月1日の能登半島地震で命を奪われ、また被災されました皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

まさに、平成23年3月11日の東日本大震災を思い出させるテレビの映像に心が痛みました。県の災害対策本部では、全国から支援物資が3日朝、県内の自治体に届いた報告があったそうですが、現場の声から足りない物資が沢山あるという声があります。国、県、民間で連絡を取り、適切な支援物資が届けられるのを願うばかりです。

しかし、その支援物資を運ぶための海上保安庁の飛行機と民間機の不幸な事故のニュースが1月2日に流れ、新年早々2日続けて心が痛みました。

お亡くなりになった方とお怪我をされた方にお悔やみとお見舞いを申し上げます。不幸中の幸いは民間機の乗客ら379人全員（乗客367名、乗員12名）脱出という報道です。毎年実施される8時間の避難訓練の成果だとの報道がありました。機長やCAの適切な対応も訓練の賜物であったことと思います。

学校でも毎学期に避難訓練を実施しています。1年生から6年生の児童をいかに早く安全に避難させるかの訓練です。児童には「お・か・し・も・ち」の合言葉「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない・ちかよらない」の事前指導も毎回しています。しかし、今回の飛行機事故でも煙で喉を傷めた方がいたそうです。

学校でも指導はしておりますが、いざ、火事などで煙と遭遇した時、姿勢を低くしてハンカチなどを口にあてる指導をしています。ご家庭での毎朝のハンカチとちり紙のチェックをお願いできたらと思います。

本日、元気な児童の声が各教室に戻ってきました。学校でも大切なお子さんをお預かりしている責務を再認識し、今年も児童の笑顔と歓声に溢れる‘龍年’となりますよう、教職員一同、心を合わせて取り組んでまいります。本年も、学校運営協議員、交通指導員、防犯ボランティア、PTAや地域の皆様にお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。